

※3 あんしん居住制度：利用者の負担軽減、家主の不安を解消し、安心して居住できるように支援する制度。
※4 高齢者が在宅生活あんしん事業：ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の在宅生活を支援するあんしん事業。
※5 パーキングパーミット制度：公共施設や商業施設等に配置された障害者等用駐車スペースの利用者を明らかにして、地域で共通に利用できる利用証を交付する制度。

◆民泊について

問 ①条例制定の基本的見解は。②住宅地域では一定制限を。所見は。③民泊事業者の責務を明確化するべき。④民泊関連の通報・相談窓口設置を。⑤マンション管理組合の相談システム構築の規定見直しを。

副区長 ①適正運営確保へ独自ルール等が必要。②制限が必要と考える。③近隣への事前説明義務付け等が必要。④国のコールセンターと連携を図る。

◆障がい者施策の充実について
問 ①障害平等研修(DEIT)の導入を。②分かりやすい接遇マニュアルを作成し、教育委員会や企業と連携した啓発推進を。③新たなバリアフリー基準の検討を。④パーキンググバーミット制度の導入を。

副区長 ①障害者福祉は最重要課題の一つ。充実に力尽くす。②既にある一般財源を介護保険会計に繰り入れる等軽減策

◆国民健康保険について
問 ①平均3.4万円の値上げ。適切な負担と言えるのか。②さらなる財政支援を国に求めよ。③国と都に低・中間所得層への減免拡充を求めよ。④負担軽減のため実績のある60億円の区財源の投入を行え。

区民 ①数字はあくまで参考の位置づけ。②③既に要望。④急激な負担増にならぬよう配慮しつつ法定外繰り入れの計画的・段階的削減を進める。

◆介護と医療について
問 ①介護報酬の引き上げを国に求めよ。②介護保険料・利用料の軽減対象の拡大を。

副区長 ①介護報酬の引き上げは国の新しい定義に基づくも。②改修経費の一部を区が支援する方式へ移行するため協議中。

自転車安全利用の推進で
安心なまち練馬へ！

練馬区議会公明党 平野 まさひろ

◆障がい者施策の充実について
問 ①障害平等研修(DEIT)の導入を。②分かりやすい接遇マニュアルを作成し、教育委員会や企業と連携した啓発推進を。③新たなバリアフリー基準の検討を。④パーキンググバーミット制度の導入を。

副区長 ①障害者福祉は最重要課題の一つ。充実に力尽くす。②既にある一般財源を介護保険会計に繰り入れる等軽減策

◆国民健康保険について
問 ①平均3.4万円の値上げ。適切な負担と言えるのか。②さらなる財政支援を国に求めよ。③国と都に低・中間所得層への減免拡充を求めよ。④負担軽減のため実績のある60億円の区財源の投入を行え。

区民 ①数字はあくまで参考の位置づけ。②③既に要望。④急激な負担増にならぬよう配慮しつつ法定外繰り入れの計画的・段階的削減を進める。

◆介護と医療について
問 ①介護報酬の引き上げを国に求めよ。②介護保険料・利用料の軽減対象の拡大を。

副区長 ①介護報酬の引き上げは国の新しい定義に基づくも。②改修経費の一部を区が支援する方式へ移行するため協議中。

一般質問(要約)

◆区長の基本姿勢について
問 ①区長就任以来掲げてきた「改革ねりま」の成果とこれからの展望は。②ふるさと納税制度による減収や法人住民税の一部国税化、さらに一連の税制改正等による区財政への影響は。③平成30年度当初予算編成について、どのような方針をもって臨む考えか。

副区長 ①いまだ道途上。ここに練馬区ありと胸を張れる自治体を目指す。②単年度で60億円超え。③事務事業のスクラップアンドビルドの徹底等に取り組み、限りある財源を効果的・効率的に活用

◆国民健康保険について
問 ①練馬区国民健康保険計画の取り組みと現状の課題は。②国民健康保険を想定した避難訓練

副区長 ①対応マニュアル策定等。区民への正確な情報提供と関係機関との連携を深める必要あり。②国等の動向確認し実施検討。③学校地域連携事業について

◆福祉分野の離職対策について
問 ①介護職の定着率を上げるために、離職者へのアンケートで個々の事業者の課題を把握し支援すべきでは。②保育職も同様に着定率を上げるために、事業者への職場環境改善の支援をすべきでは。

副区長 ①来年度、就労実態等の調査実施し職場環境改善に努める。②職員の入替わりが多い施設は、必要に応じ指導検査を実施等。今後も支援・指導の充実を図る。

国の社会保障の大改悪から
区民生活を守る

日本共産党練馬区議員 島田 拓

◆保育園待機児解消について
問 ①保育園に入れていないにもかかわらず待機児にカウントされない782名にも保育実施義務がある。区の認識は。②子ども・子育て支援事業計画の保育利用量の推計は実態に見合ったものに。③多くの保護者が希望する5歳児まで

副区長 ①区長会を通じ要望。②既に一般財源を介護保険会計に繰り入れる等軽減策

◆国民健康保険について
問 ①平均3.4万円の値上げ。適切な負担と言えるのか。②さらなる財政支援を国に求めよ。③国と都に低・中間所得層への減免拡充を求めよ。④負担軽減のため実績のある60億円の区財源の投入を行え。

区民 ①数字はあくまで参考の位置づけ。②③既に要望。④急激な負担増にならぬよう配慮しつつ法定外繰り入れの計画的・段階的削減を進める。

◆介護と医療について
問 ①介護報酬の引き上げを国に求めよ。②介護保険料・利用料の軽減対象の拡大を。

副区長 ①介護報酬の引き上げは国の新しい定義に基づくも。②改修経費の一部を区が支援する方式へ移行するため協議中。

議会Q&A

Q 会議を民主的で円滑に進めるための原則はどのようなものですか？

A 主に次のような原則があります。

- ①定数数の原則
会議を開くには定数の半数以上の出席が必要で。
- ②過半数議決の原則
議決するには、出席している議員の半数を超える賛成が必要です。賛否が同数のときは議長が決めます。特定事項(秘密会の議決など)については、特別多数(3分の2以上など)の賛成が必要です。
- ③議事公開の原則
秘密会の議決をしない限り、会議は公開しなければなりません。
- ④一時不再議の原則
いったん決定した案件は、その会期中に再度の審議はできません。
- ⑤会期不継続の原則
会期中に決まらなかった案件は、次の会期に持ち越せません。継続して審議するときには、そのことを議決しなければなりません。



練馬区独立70周年記念事業ねりまユニバーサルフェス「ユニバーサルスポーツフェスティバル」でポッチャ体験(平成29年12月1日 光が丘体育館)

◆区政改革について

①区民参加と協働への考えは。②現アクションプラン全体の進捗状況は。③次期プラン策定で今後の財政規律の保持との整合性は。④改修改築需要が増加する工事費の財源確保を含めた対応は。⑤外郭団体の改革への取り組みは。

①練馬ならではの自治を創造したい。②計画通りと認識。③施策推進と持続可能性の両立を図る。④工事費の抑制、補助金・起債等の活用、着実な基金積み立て等

◆地域医療について

①今後の地域医療の充実と病床確保に向けた区長の決意は。②練馬が丘病院の改築の具体的なスケジュールと区の支援の在り方は。③学校跡施設の活用方法は。④改築

◆ICTの活用について

①全庁的な検討状況は。②民間団体との連携を。③多言語字幕表示による情報支援を。④多言語音声認識アプリ活用で、外国人を想定した防災訓練実施を。⑤障がいの有無にかかわらず、文化芸術を楽しめるようICTの活用を。⑥美術館の大規模改修では最新のICT技術の導入を。

◆農業について

①農地保全への所見は。②区民農園の確保のため、基準に満たない農地の借用を。③農福連携のさらなる推進を。

◆健康長寿社会への取り組みについて

①特定健康診査等の目標達成への取り組みは。②データヘルス計画で集積された情報を区民も利用できるよう改善を。③残薬の再活用を。④薬局で複数の錠剤の一包化を。

◆清掃事業について

①清掃車両にラッピング等をして環境啓発のPR活動を。②ごみ集積所へ監視カメラを設置し、不法投棄の根絶を。③公設のごみ集積所を設置し、区民との協働で管理を。④区の保有車両について協議。

◆教育について

①中教審の学校における働き方改革に係る緊急提言に対する見解と区立小・中学校教員の勤務実態の現状は。②都教委の中間まとめの内容と働き方改革への取り組みに対する教育委員会の考え方は。③区の地域包括ケアシステムとは。④医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。⑤医療・介護連携推進員育成の進め方は。⑥ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆高齢者福祉について

①区の地域包括ケアシステムとは。②医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。③医療・介護連携推進員育成の進め方は。④ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆国民健康保険制度改革について

①今後の都と区の役割分担と加入者が行う手続きは。②保険料について区の今後の対応は。③保険料率設定における法定外繰り入れに対する区の考えは。④保険者努力支援制度活用で財政基盤の強化

◆高齢者福祉について

①区の高齢者福祉包括ケアシステムとは。②医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。③医療・介護連携推進員育成の進め方は。④ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆都市農業について

①農地制度や税制度の一刻も早い改正をさらに強く関係省庁に要望。②今後も柔軟に対応。③練馬区ならではの仕組みを検討。④配送の仕組みを検討。飲食

◆都市農業の振興で、みどり豊かな練馬を！

①受診期間の延長や受診勧奨を行い受診率向上を目指す。②情報の利用は困難。国の新システム整備の動向を注視。③23区共同で調査・検討中。④改築で

◆公園・スポーツ施設について

①パークマネジメントに対する考えは。②公園での区民協働事業の継続、支援を。③民間スポーツチームと連携を。④石神井松の風文化公園隣接地取得を。⑤練馬城址公園は都とさらなる連携強化を。

◆教育について

①中教審の学校における働き方改革に係る緊急提言に対する見解と区立小・中学校教員の勤務実態の現状は。②都教委の中間まとめの内容と働き方改革への取り組みに対する教育委員会の考え方は。③区の地域包括ケアシステムとは。④医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。⑤医療・介護連携推進員育成の進め方は。⑥ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆高齢者福祉について

①区の高齢者福祉包括ケアシステムとは。②医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。③医療・介護連携推進員育成の進め方は。④ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆都市農業について

①農地制度や税制度の一刻も早い改正をさらに強く関係省庁に要望。②今後も柔軟に対応。③練馬区ならではの仕組みを検討。④配送の仕組みを検討。飲食

◆健康長寿社会への取り組みについて

①特定健康診査等の目標達成への取り組みは。②データヘルス計画で集積された情報を区民も利用できるよう改善を。③残薬の再活用を。④薬局で複数の錠剤の一包化を。

◆区長の基本姿勢

①朝霞駐屯地に新設される総隊司令部についての情報をどう住民に知らせるか。②「練馬区基本構想」「みどりの風吹くまちビジョン」「グラウンドデザイン構想」の関係は。

◆教育について

①中教審の学校における働き方改革に係る緊急提言に対する見解と区立小・中学校教員の勤務実態の現状は。②都教委の中間まとめの内容と働き方改革への取り組みに対する教育委員会の考え方は。③区の地域包括ケアシステムとは。④医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。⑤医療・介護連携推進員育成の進め方は。⑥ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆高齢者福祉について

①区の高齢者福祉包括ケアシステムとは。②医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。③医療・介護連携推進員育成の進め方は。④ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆都市農業について

①農地制度や税制度の一刻も早い改正をさらに強く関係省庁に要望。②今後も柔軟に対応。③練馬区ならではの仕組みを検討。④配送の仕組みを検討。飲食

◆健康長寿社会への取り組みについて

①特定健康診査等の目標達成への取り組みは。②データヘルス計画で集積された情報を区民も利用できるよう改善を。③残薬の再活用を。④薬局で複数の錠剤の一包化を。

◆清掃事業について

①清掃車両にラッピング等をして環境啓発のPR活動を。②ごみ集積所へ監視カメラを設置し、不法投棄の根絶を。③公設のごみ集積所を設置し、区民との協働で管理を。④区の保有車両について協議。

◆教育について

①中教審の学校における働き方改革に係る緊急提言に対する見解と区立小・中学校教員の勤務実態の現状は。②都教委の中間まとめの内容と働き方改革への取り組みに対する教育委員会の考え方は。③区の地域包括ケアシステムとは。④医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。⑤医療・介護連携推進員育成の進め方は。⑥ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆高齢者福祉について

①区の高齢者福祉包括ケアシステムとは。②医療と介護の連携を強化し、自宅でサービスを受けながら暮らせる環境づくりが必要。区の見解は。③医療・介護連携推進員育成の進め方は。④ひとり暮らし高齢者支援の今後の取り組みは。

◆都市農業について

①農地制度や税制度の一刻も早い改正をさらに強く関係省庁に要望。②今後も柔軟に対応。③練馬区ならではの仕組みを検討。④配送の仕組みを検討。飲食

一般質問(要旨)

①朝霞駐屯地に新設される総隊司令部についての情報をどう住民に知らせるか。②「練馬区基本構想」「みどりの風吹くまちビジョン」「グラウンドデザイン構想」の関係は。③国においてなされるものと考える。④目指す将来像を区民と共有するためグラウンドデザイン構想に着手。具体的取り組み等はビジョンで明示。基本構想は今後見直しが必要と考える。

◆若年性認知症支援について

①専門デイサービスは定員7名の1か所のみ。人口多くなり練馬区は複数必要。認識は。②紙おむつ現物支給等、高齢者向けサービスの適用拡大を次期計画に示せ。

◆中高層住宅の防災について

①安全に受け入れるための課題整理が必要。第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画で平成32年度までの目標を示す。②東京労働局が助言、指導または勧告実施。独自制度を作る考えはない。

◆中高層住宅の防災について

①安全に受け入れるための課題整理が必要。第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画で平成32年度までの目標を示す。②東京労働局が助言、指導または勧告実施。独自制度を作る考えはない。

◆中高層住宅の防災について

①安全に受け入れるための課題整理が必要。第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画で平成32年度までの目標を示す。②東京労働局が助言、指導または勧告実施。独自制度を作る考えはない。

◆中高層住宅の防災について

①安全に受け入れるための課題整理が必要。第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画で平成32年度までの目標を示す。②東京労働局が助言、指導または勧告実施。独自制度を作る考えはない。

◆練馬城址公園について

①としまえんが都立公園になることをどう住民に知らせるか。②委託調査会社の報告は「アリーナ建設が最も望ましい」だが、その場合、諸課題への対処は。③住民主体の協議会の設置予定は。

◆病児・病後児保育について

①登録施設以外に空きがあれば、当日でも申し込めるシステムにすべきだが考えは。②あらかじめ施設ごとに児童の病歴等の登録が必要。キャンセル枠の有効活用を図る等制度の充実に努める。

◆まちづくり条例について

①規制が緩いので大型ワンルームマンション建設が続く。住民参加で条例見直しを。②ファミリー向け住宅の付置義務を加える等、条例で定める基準の見直しを進める。

◆羽田空港増便問題について

①新ルートによる落下物や騒音等の影響周知のため情報発信拠点の設置を国に求めよう。既に区への設置を要請。国において実施を調整中。

◆環境管理

①環境管理。要望に応じ出前講

特別委員会の行政視察

練馬区議会では、今後の行政施策の参考とするため、各都市への視察を行いました。

委員会名	視察日	視察先	視察目的
総合・災害対策等特別委員会	11月14日(火) 11月15日(水)	宮城県山元町	東日本大震災後の復旧・復興状況について
		宮城県亘理町	東日本大震災後の復旧・復興状況について
医療・高齢者等特別委員会	11月9日(木) 11月10日(金)	宮城県塩竈市	塩竈市立病院について
		宮城県仙台市	介護予防自主グループ支援事業について
清掃・エネルギー等特別委員会	11月14日(火) 11月15日(水)	福岡県大木町	おおき循環センター「くるん」について
		福岡県	福岡県のエネルギー政策について
交通対策等特別委員会	11月13日(月) 11月14日(火)	福岡県福岡市	西鉄天神大牟田線連続立体交差事業について
			地下鉄七隈線延伸事業について

一般質問は、12月1日・4日・5日の3日間、9名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会后、概ね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。